



一般社団法人 全国妊娠 SOS ネットワーク  
予期しない妊娠への相談対応研修 ～現場で役立つ知識を学ぶ～  
2020 年度 運営ガイド

<研修開催へ向けて>

- 本研修は、パート1：基礎編とパート2：アドバンス編があります。まずはパート1を受講することで、パート2の受講資格を得ることになります。
- 1日しっかり受講していただきたく、遅刻や早退は原則禁止でお願いします。終了後に受講証をお渡しします。
- 基礎編の講師は、以下の全妊ネットの理事3名と地元からの講師1名の予定です。
  - 佐藤 拓代 (公益社団法人母子保健推進会議会長、元大阪母子医療センター母子保健情報センター長、医師)
  - 松岡 典子 (MCサポートセンターみつくみえ代表、助産師)
  - 赤尾 さく美 (一般社団法人ベアホープ 理事、助産師)通常、地元の母子生活支援施設の方に講師のご協力をいただいています。
- 基本的に1回の研修で講師4名を派遣し、依頼した機関で研修費10万円を負担していただきます。(※実際の経費の大半が日本財団の助成金で賄われます。)
- 当日使用する「妊娠SOS相談対応ガイドブック」を販売します(当日は一冊1000円)。販売と飲食可能な会場の確保をお願いします。
- 会場・設備費、周知のためのチラシ作製や郵送料、研修資料の印刷等は、依頼した機関でご負担をお願いします。
- 研修対象は、思いがけない妊娠をして悩んでいる女性と関わる機会のある医療、保健、福祉、教育の専門職です。主催者側(自治体・団体等)の職員、所属会員のみでなく、他機関、多職種へのお声がけをしていただいて50名以上は集め、地域での連携を作る機会としてください。  
※ただし、学生、一般の方は対象外です。
- 事前に参加者の人数と職種の内訳をお知らせください。(講義の参考のため。)

2020年度は、本研修への日本助産実践能力推進協議会(日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会・全国助産師教育協議会・日本助産評価機構で構成される協議会)と、母子保健推進会議による後援が決定しています。

また、アドバンス助産師「ウイメンズヘルスケア：WHC」更新申請のWHC研修(予期せぬ妊娠をした女性の支援：6時間)として認められますので、チラシへの記載をお願いします。

<https://josan-hyoka.org/personalidentification/application-update/#whc>

### <研修当日までの準備について>

- 開催希望の候補日を複数お知らせください。可能な限り、金曜日か土曜日でお願いします。講師陣のスケジュールを確認して決定します。
- 会場は、販売・飲食可能なプロジェクターとマイク完備のところをお願いします。会場が決まり次第、講師の宿泊先を確保していきますので、会場を早めにお知らせください。
- チラシの作成をお願いします。チラシには、全妊ネット共催、日本財団助成と入れて両社のロゴを使用してください。2020年度は、日本助産実践能力推進協議会と、母子保健推進会議による後援も記載してください。
- アドバンス助産師「ウイメンズヘルスケア：WHC」更新申請のWHC研修（予期せぬ妊娠をした女性の支援：6時間）として認められますので、チラシに記載をお願いします。受講証を発行します。
- チラシ配布開始前に、内容の確認をする必要がありますので、まずデータでお送りください。最終版を全妊ネットのホームページでも周知させていただきます。
- 当日の配布資料、アンケート等の印刷を人数分お願いします。
- ガイドブックを事前にお送りしますので、確実に届く送付先と電話番号をお知らせください。
- 当日の司会進行は全妊ネットで行ないませんが、受付の担当をお願いします。
- 研修当日、全妊ネットの個人会員募集を行います（年会費 3000 円）。（任意です。）

不明な点等ございましたら、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：

一般社団法人 全国妊娠 SOS ネットワーク事務局

E-mail: [info@zenninnet-sos.org](mailto:info@zenninnet-sos.org)

Web: <https://zenninnet-sos.org/>